

乳幼児の感染症予防講習会より

先日、子どもにかかわる仕事をしている人を対象に、医師による講習会を実施しました。身近な話題もたくさんありましたので一部をご紹介します。

資料：「お母さんに伝えたい子どもの病気ホームケアガイド」日本外来リハビリ学会 編著

- **診察を受ける前に** →
 - ・いつ頃から、どのような症状があるか、教えてください。
 - ・待合室では、スマートフォンではなく、子どもの様子を見てください。また、口の中がよく見えないので飲食は控えてください。
- **薬** →
 - ・内服薬を一回分のミルクに混ぜるのはダメです。ミルクの味が変わってしまってミルク嫌いになってしまう可能性があります。
 - ・古い薬は使わないでください。兄弟での共有もしないでください。
 - ・お薬手帳をご利用ください。薬の飲ませ方は医師や薬剤師にご相談ください。



(主な座薬) **解熱剤**：病気を治す目的ではありません。効果が切れると熱は上がるので注意が必要です。

けいれん止め：熱性けいれんなどで、医師からけいれん止め使用の指示があるお子様は園にお知らせください。

- **熱について** →
 - ・平熱を知っておきましょう(朝夕で体温は変化しています)。
 - ・電子体温計の最初のブザーは予測値です(測る度に体温が変わるのはそのためです)。そのまま測り続けるとおよそ5分で実測値になります(取扱説明書をご覧ください)。
 - ・「熱が下がったら登園していいよ。」の保育が可能な場合は、解熱剤を使わずに熱が下がってから24時間経過している場合です。その他、元気がある・機嫌がよい、食事や水分が摂れている、発熱を伴う発しんがない、咳や鼻水がひどくないことも目安にしてください。



※「保育所における感染症対策ガイドライン2012」厚生労働省

- **B型肝炎** →
 - ・平成28年10月から定期予防接種を、1歳未満を対象に実施しています。



園での感染症対策・・・★消毒編★



通年は、**アルコール消毒**が中心となります。

嘔吐・下痢を発生した場合や血液汚染(アルコール消毒では効果が低いといわれているもの)などには**塩素消毒**をします。「咳込んで吐く」「食べ過ぎて吐く」「鼻をいじって鼻血」など、きっかけが病的なものか、生理的・物理的なものかは園で判断できないので、すべてに感染症対応の消毒をしています。

～ 園で使っている塩素消毒について ～

塩素系漂白剤は、使用上の注意を必ず守ってください。

清掃用・・・ペットボトル500mlにペットボトルキャップ半分の塩素系漂白剤
吐物や便で汚れたもの・・・ペットボトル500mlにペットボトルキャップ2杯の塩素系漂白剤
*吐物などで汚れた衣類は、感染拡大防止のため、そのままお返ししますのでご協力お願いします。



上記の濃度で作って使用しています。ご家庭でも使ってみてください。

インフルエンザ、ノロウイルスなどこれからの季節に流行する感染症に有効です。
テーブル、イス、ドアノブなど人がよく触る場所の清掃に使ってみてください。

《 1月の乳幼児健診・相談 》

会場：保健センター

	6か月児健診 (H29.6月生)	1歳6か月児健診 (H28.6月生)	3歳児健診 (H26.12月生)	2歳児相談 (H27.12月生)
1日～15日生	10日(水)	16日(火)	17日(水)	12日(金)
16日～末日生	24日(水)	30日(火)	31日(水)	
受付時間	13:15～14:00			9:30～10:30

受診結果を園にお知らせください。



※ 体調不良等で指定日に受けられない場合は、別の日や翌月の健診日に受けることができます。